

## 映画や討論で TPP考える

鹿大で学習会

環太平洋連携協定（TPP）を考える学習会が15日、鹿児島大学であった。学生を中心に約40人が参加し、NPO法人アジア太平洋資料センター（東京）が作った映画やパネルディスカッションを通して、TPPの問題点などを学んだ。写真。

学習会は鹿大卒業生らでつくる実行委員会の主催で、昨年7月に続き2回目。映画「誰のためのTPP」を上映した後、田代正一・鹿大教授が内容を踏まえて「TPPは農業問題、農家の問題と捉えられて

いるが、実際は私たちの暮らしを変えるさまざまな分野が対象になっている」と述べた。

パネルディスカッションでは、熊本県水俣市で棚田を守る活動を続ける愛林館の沢畑亨館長ら4人が登壇し、「（TPPに象徴される）新自由主義とは違った生き方の選択肢をつくっていききたい」などと持論を展開した。

